

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 5月24日更新

事務事業名		くまもと県北スクラムチャレンジ参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	古荘 一也
	施策	12	商工業の振興			所属課	商工振興課	担当者名	樋口 良平
	基本事業	36	生産・販売力の強化			所属班	商工育成・企業誘致班	(内線)	1273
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11592	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (24 ~ 26 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	県北5市6町(荒尾市・玉名市・山鹿市・菊池市・合志市・玉東町・和水町・南関町・長洲町・大津町・菊陽町)で「くまもと県北交流拡大プロジェクト実行委員会」を組織し、平成24年度から平成25年度にかけて、くまもと県北地域における2次交通7ヶ所及び3次交通7ヶ所の調査、検討、並びに観光ツアーの造成等による実証実験を行い、交流拡大の推進、販路拡大につなげるためのPR活動等を行なう。
【業務の流れ】	くまもと県北交流拡大プロジェクト実行委員会への出席 H24年・・・調査、分析 H25・・・実証実験、検証、PR
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	実行委員会への出席や調査項目・対象の精査、調査・分析の委託、調査結果分析、報告書作成	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成24年度で調査・分析したものをふまえ、観光ツアーの造成による実証実験を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア 実行委員会の開催回数	(単位)回 予算の主な増減の理由 交流拡大プロジェクト実行委員会負担金の増、観光・物産・移住定住PR事業負担金の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	参加自治体(5市6町)	(単位)市町 ア 実行委員会への参加自治体数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	県北地域の観光客の立ち寄り先等の現状調査や分析ができ、観光ツアー(バック)の造成や販路拡大につなげるためのPRができる。	(単位)市町 ア 現状調査や分析ができた自治体数 イ 販路拡大等につながるPRができた自治体数
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 健全な経営がなされている。		総トータルコスト 全体計画 ~26年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	回			3	5	3			
	イ									
②対象指標	ア	市町			11	11	11			
	イ									
③成果指標	ア	市町			11	11	11			
	イ	市町			11	11	11			
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円					995			
	(A)事業費計	千円			0	0	0	995		
(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	966			
(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0			
人件費	正規職員従事人数	人			2	3	2			
	延べ業務時間	時間			60	202	60			
(B)人件費計	千円			242	822	242				
トータルコスト(A)+(B)	千円			242	822	1,237				

事務事業名	くまもと県北スクラムチャレンジ参画事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはしているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 交流拡大プロジェクトについては、参加市町を対象としたツアーパックを造成しPR活動を行ない、魅力発信プロジェクトは、福岡市において11団体による観光物産展を開催する予定であるため
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今年度で本事務事業は終了するため
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 県プロジェクト事業に参画しているものであるため
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 参加団体割による負担金であるため
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員及び業務時間で実施しているため
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 県北地域の自治体を対象とした観光振興を図る県事業であるため
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行なう観光振興事業であるため、住民や地域・団体には移行できない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度は宿泊客動態調査とその分析を行なった。
本市では2宿泊施設利用者を対象に調査を行なったが、予定していたサンプル数を採取することができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						